

住宅改修理由書 P1

記入要領

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号		生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	年齢	歳	作成者	現地確認日	令和 年 月 日	作成日	令和 年 月 日
	被保険者氏名		性別	☐ 男 ☐ 女	要介護度	☐ 要支援 () ☐ 要介護 ()			所属事業所			ケアマネジャー、リハビリ専門職や介護サービス提供事業所など連携を行った他職種について連携の有無を記入してください。		
	住 所										氏 名			

保 険 者	確 認 日	令和 年 月 日	評価欄		理由書作成時点で、入院・入所中の有無にチェックしてください。※ありの場合、退院退所前協議書の提出が必要です。	理由書作成時の	入院・入所の有無
					☐ なし ☐ あり ※あり		退院退所前協議書の提出が必要です。

＜総合的状況＞

利用者の身体状況		他職種との連携	福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	
☐ 脳血管疾患 ☐ 骨・関節障害 ☐ 骨粗しょう症 ☐ リウマチ ☐ パーキンソン病 ☐ 内部疾患 ☐ 糖尿病 ☐ 高齢によるADL低下 ☐ 身障手帳 級 ☐ その他 ()	例えば、移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況を記載します。 屋内・屋外での移動時、また段差や階段などの昇降動作時に実際にどのような状況なのかを簡潔にまとめて記述してください。 (自立・壁や物に伝い歩き・介助歩行・歩行器利用など)	☐ なし ☐ あり () 居住形態 改修履歴 主な生活場所 ☐ 1 ☐ 2 同居 ☐ 単 ☐ 夫 ☐ 子 ☐ 子 ☐ 孫 ☐ その他 () 合計 人	●車いす ●特殊寝台 ●床ずれ防止用具 ●体位変換器 ●手すり ●スロープ ●歩行器 ●歩行補助つえ ●認知症老人徘徊感知機器 ●移動用リフト ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 ●その他 ・ ・	改修前 改修後
介 護 状 況	在宅でどのような介護の状況かを記載します。 主な介護者を含む家族の介護の状況や各種介護サービスの利用状況			
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	これまでの生活歴を踏まえ、住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか（何を希望しているのか）。またその予測される効果を記載します。			

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)	
排泄 ☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便座からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄 ☐ 後始末 ☐ その他()	生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述します。 ●本当は「・・・したい」が、実際には、「・・・しかできない」ので、「・・・について困っている」というように具体的に記入してください。 ●改善する行為に限定したコメントを記入してください。 ●生活のどの場面、どの動作が本人にとって大変なのか、動作の流れに沿ってひとつずつ見極めてください。 ※段差記入時は、「浴室入口段差(〇cm)」のように<u>具体的数値</u>を記入してください。 ※既存のものが設置されている場合、本人の身体状況では使うこと	☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方法を記入してください。 ①②の問題点をふまえ、改修目的項目をチェックしてください。	
入浴 ☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室に入る ☐ 浴槽・洗い場()を含む ☐ 浴槽・洗い場()を含む ☐ 浴槽・洗い場()を含む ☐ 浴槽内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()		☐ 手すりの取付け () ●様々な角度から検討し、決定された改修項目をチェックし、詳細な内容を記述します。 ●場所だけではなく、取付箇所、手すりの形状、本数を記入してください。 【手すりの取付け記載例】 ×玄関 2本 ○玄関たたき壁面 横1本 玄関上がり框壁面 縦1本 など
外出 ☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()		☐ 便器の取替え () ()
その他の活動 ☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()		☐ 滑り防止等のための床材の変更 () () その他 () () ()

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号	1234567890	生年月日	明治 大正 昭和 ☐ ☒	● 年 1 月 1 日			年齢	88 歳
	被保険者氏名	山口 はな		性別	☐男 ☒女	要介護度	☐要支援 ☒要介護	(2)	
	住 所	山口市亀山町2番2号							

作成者	現地確認日	令和 〇年 〇月 〇日	作成日	令和 〇年 〇月 〇日
	所属事業所	〇△居宅介護支援事業所	資 格	☒介護支援専門員 ☐ ()
	氏 名	山口 外郎	電 話	083-934-1111

保険者	確 認 日	令和 年 月 日	評価欄	

理由書作成時の病院・施設等への入院・入所の有無	
☒なし	☐あり ※ありの場合、退院退所前協議書の提出が必要です。

＜総合的状況＞

利用者の身体状況		他職種との連携		福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定		
☐脳血管疾患 ☒骨・関節障害 ☐骨粗しょう症 ☐リウマチ ☐パーキンソン病 ☐内部疾患 ☐糖尿病 ☒高齢によるADL低下 身障手帳 級 その他 ()	右大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術後。室内は杖でゆっくりではあるが歩行可能。ただし、不安定なため移動時は夫が見守りしている。立ち上がりや段差異降時はつかまるものが必要。屋外は車いすを使用。	☐なし ☒あり (理学療法士・建築士)		改修前	改修後	
		居住形態	改修履歴			
		主な生活場所	☐なし ☒あり H ● 年 10 月			
		同居家族の状況	改修箇所・内容			
		☐単身 ☒夫婦 ☐子 ☐子の配偶者 ☐孫 ☐その他 ()	勝手口・段差解消			
介 護 状 況	上記理由により、主に夫が本人の移動の見守りや生活動作の介助等を行っているが、介護負担が大きい。通所サービスを週1回利用。	合計 2 人				
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	居室～トイレまでの移動、トイレの動作が自立して行えるようになりたい。また、上り框の縦手すりによって、屋外への移動が行いやすくなることで、外出の動機づけとなり、買い物などへ行きやすくなる。					

住宅改修理由書 P2

記入例

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

①改善をしようとしている生活動作		② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください		④ 改修項目(改修箇所)
排泄	☒ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☒ 便座からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()	居室からトイレへの移動は、杖歩行だが歩行のバランスが若干不安定で見守りが必要。便座からの立ち上がりの際に、把持するものがないため、介助が必要。	☒ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☒ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☒ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	廊下の移動が一人で(見守りなしで)行えるように、連続した手すりを設置する。一人で便座からの立ち上がりができるように、縦手すりを設置する。	☒ 手すりの取付け (玄関上り框横 縦手すり) (廊下 横手すり) (トイレ壁 縦手すり) () ()
入浴	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴槽の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴槽内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()		☒ 段差の解消 (居室床のかさあげ) () () ()
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☒ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☒ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()	玄関上り框に○cmの段差があり、昇降時の動作が不安定で転倒の危険がある。何かつかまるものがあれば、自力での外出動作は可能である。	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☒ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	縦手すりを取り付けることにより、昇降時の動作の容易性が確保され、転倒の防止に繋がる。	☐ 引き戸等への扉の取替え () () ☐ 便器の取替え () () ()
その他の活動	居室から台所、廊下への移動	居室の床面が○cm低く、廊下や台所の移動の際、つまづくことが多い	☐ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	居室床面のかさ上げを行うことで段差をなくし、容易に移動ができるようにする。	☐ 滑り防止等のための床材の変更 () () ☐ その他 () () ()